

My PACS

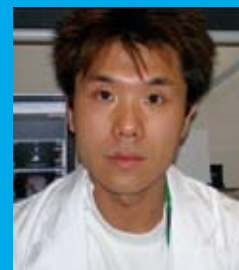
Plissimo

パナソニック メディカルソリューションズ

市立伊東市民病院

病床数
総数 250床 (一般病床)

診療科目
内科、小児科、外科、整形外科、
形成外科、脳神経外科、産婦人科、
眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、
リハビリテーション科、麻酔科
(12診療科)



市立伊東市民病院放射線技師
及川徳章

使用感、便利だと思う機能

当院は2001年にオーダリングシステム、2002年に画像保管用サーバ、2006年に遠隔画像診断システムを導入した。2006年にオーダリングシステムの保守期間が終了する機会に電子カルテ導入に動き出した。電子カルテ導入に伴いフィルムレス化も検討し、院内画像参照環境の整備を考慮した結果、新規PACS導入を決定した。選定は電子カルテとの連動、安定性、操作性、旧PACSの画像移行、多様な機能(動画、MIP/MPR)を重点に検討した結果、すでに導入済みの遠隔画像診断システムで実績のあったパナソニックメディカルソリューションズのPlissimoを採用した。旧ネットワークを再構築して2008年9月にPACS稼動となった。システム概要は、Plissimoの画像保管サーバにDICOM出力モダリティの接続と非DICOMモダリティはDICOM変換装置を介し接続した。また他院からの画像フィルムは、フィルム読取型スキャナで取込み、DICOM画像変換して画像保管サーバに保存した。診察用参照端末は外来、病棟に2M~3Mの高精細モニタを配置し、WEB配信している。放射線科、ANGIO室、手術室は利便性を考え参照端末を配置し、読影端末は薬事承認された2Mモノクロ2面の構成とした。PACS導入効果は、フィルム搬送がなくなり、院内のどこからでも画像確認できることで病院スタッフの業務軽減に大いに繋がった。放射線科でもRISとの相乗効果により、検査効率が確実に向上した。

改善を希望する点

第一印象としては操作性が良く、説明書等を読まずとも感覚的に使用できるPACSと感じられた。Plissimoはほとんどの機能がアイコンで表示されており、アイコンを見ればその機能が何なのかはだいたい理解でき、マウス操作のみで大半のことは行える。また、画像保管に関しても可逆圧縮画像のみで運用しているが、画像配信速度について特にストレスを感じることはない。現時点では大きな改善点は特にない。

診療報酬改定後の影響について

平成20年度改定にて一般的には減収傾向であったが、当院は「画像診断管理加算2」の厳しい要件の施設基準をクリアしてから、PACS導入時、「電子画像管理加算」を算定する事などにより、要所を抑え収益を上げる事に成功した。

これからのPACSへの期待

他メーカー同士のPACSであってもネットワーク連携がとれると望ましい。それによって、病診連携の検査等で患者さまに画像データを持たせなくても良くなることや、地域の病院、医院で画像の共有化が図れるようになることを期待する。